

2020年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMDC

コード番号 4483 URL <http://www.jmdc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 松島 陽介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員副社長 兼 CFO (氏名) 山元 雄太 TEL 03-5733-5010

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,654	19.8	1,481	29.0	1,439	30.1	972	25.4	972	25.4	972	25.4
2019年3月期第3四半期	7,223	-	1,148	-	1,106	-	775	-	775	-	775	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	40.97	39.19
2019年3月期第3四半期	37.75	33.64

(参考) EBITDA 2020年3月期第3四半期 2,251百万円 (29.4%) 2019年3月期第3四半期 1,740百万円 (-%)

- (注) 1. 当社は、2018年3月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2018年6月18日付で普通株式1株につき1,000株の割合で、2019年10月9日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割のいずれもが行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算出しております。
3. EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費土その他の収益・費用

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,423		12,561		12,561		49.4	
2019年3月期	18,965		6,117		6,117		32.3	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,206	11.3	1,948	32.5	1,888	33.9	1,259	24.7	1,259	24.7	51.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) EBITDA 2020年3月期通期（予想） 2,888百万円 (22.5%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名 ー）、除外 ー社（社名 ー）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	25,975,042株	2019年3月期	23,105,042株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	0株	2019年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	23,734,860株	2019年3月期3Q	20,532,970株

(注)当社は、2018年6月18日付で普通株式1株につき1,000株の割合で、2019年10月9日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割のいずれもが行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは医療ビッグデータを活用した社会生活者に向けた健康増進の取組み、デジタルテクノロジーの活用による医療の効率化支援、調剤薬局の情報化による薬局薬剤費の最適化支援を合わせ、グループ全体で国民医療費の健全化を目指すべく業務を進めております。

ヘルスビッグデータ事業は、健康保険組合の保健事業を推進するため、健康保険組合が保有するデータの分析サービスの他、当社開発のPHRサービスを提供しております。また、こうした業務の付帯として受領した匿名加工情報をデータベース化し、学術・産業利用を進めております。その他、医療機関に対して薬剤DBの販売を行っております。

遠隔医療事業は放射線診断専門医が不足している医療機関と契約読影医を遠隔読影システムで繋ぐマッチングサービスの他、医療機関と放射線診断専門医をクラウドでつなぎ、遠隔での画像診断を可能としたASPサービスを提供しております。

調剤薬局支援事業は保険薬局に対してレセコン及び電子薬歴システムなどのシステム開発・販売事業を行う他、自らも調剤薬局を運営する中で、自社システムのオペレーションテストを実施しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	比較増減	
売上収益	7,223	8,654	+1,431	+19.8%
営業利益	1,148	1,481	+333	+29.0%
EBITDA(マージン)	1,740 (24.1%)	2,251 (26.0%)	+511	+29.4%

(注) 当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、EBITDAがあります。当社グループは、EBITDAを用いて各セグメントの業績を測定しており、当社グループの業績評価をより効果的に行うために有用かつ必要な指標であると考えております。EBITDA及びEBITDAマージンの計算式は以下のとおりです。

- ・EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用
- ・EBITDAマージン : EBITDA/売上収益×100

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	比較増減	
ヘルスビッグ データ	セグメント売上収益	3,036	3,790	+754	+24.8%
	セグメント利益(率)	1,024 (33.7%)	1,317 (34.7%)	+293	+28.6%
遠隔医療	セグメント売上収益	2,652	2,952	+300	+11.3%
	セグメント利益(率)	740 (27.9%)	817 (27.7%)	+77	+10.4%
調剤薬局支援	セグメント売上収益	1,612	2,053	+441	+27.4%
	セグメント利益(率)	55 (3.4%)	254 (12.4%)	+199	+361.8%
調整額	セグメント売上収益	△77	△142	△65	—
	セグメント利益	△80	△138	△58	—
合計	売上収益	7,223	8,654	+1,431	+19.8%
	EBITDA(マージン)	1,740 (24.1%)	2,251 (26.0%)	+511	+29.4%

[ヘルスビッグデータ]

ヘルスビッグデータ事業は、当社及び2018年5月に当社グループに加わったメディカルデータベース株式会社で構成される事業であります。2018年12月に連結子会社とした株式会社クリンタルは2019年4月1日付けで当社が吸収合併したことに伴い消滅しております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き取引先健康保険組合の拡大を行った他、健康保険組合へのPeUpの導入を進めました。また、製薬企業及び生損保企業でのデータ利活用も進み、1企業あたりの取引額

も増加しており、ヘルスビッグデータ事業の売上収益は3,790百万円、セグメント利益（セグメントEBITDA）は1,317百万円となりました。

[遠隔医療]

遠隔医療事業は、株式会社ドクターネットを中心とする事業であります。2019年4月には、中国での事業展開を本格化するため、医解網（上海）科技有限公司を設立しました。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き契約読影医及び契約医療機関数が成長しており、遠隔医療事業の売上収益は2,952百万円、セグメント利益（セグメントEBITDA）は817百万円となりました。

[調剤薬局支援]

調剤薬局支援事業は、2018年5月に株式会社ユニケソフトウェアリサーチが当社グループに加入したことによって、前連結会計年度に新しく加わったセグメントであり、前第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は8か月分の売上のみが計上されております。

当第3四半期連結累計期間においては、既存顧客の買換え（リプレース）需要を確保しつつ、新規顧客の開拓に努めており、調剤薬局セグメントの売上収益は2,053百万円、セグメント利益（セグメントEBITDA）は254百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は8,654百万円、営業利益は1,481百万円、EBITDAは2,251百万円の増収増益となりました。なお、営業利益とEBITDAの調整は以下のとおりであります。

(営業利益とEBITDAの調整表)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業利益	1,148	1,481
(加算) 減価償却費及び償却費	446	649
(減算) その他の収益	6	4
(加算) その他の費用	151	125
EBITDA	1,740	2,251

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)	比較増減	
流動資産	5,925	11,487	+5,562	+93.9%
非流動資産	13,040	13,936	+896	+6.9%
資産合計	18,965	25,423	+6,458	+34.1%
流動負債	5,610	3,902	△1,708	△30.4%
非流動負債	7,238	8,959	+1,721	+23.8%
負債合計	12,848	12,862	+14	+0.1%
資本合計	6,117	12,561	+6,444	+105.3%

① 資産

資産は、前連結会計年度末と比べ6,458百万円増加し25,423百万円となりました。これは主に、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う新株発行等により、現金及び現金同等物が5,580百万円増加となったことによるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末と比べ14百万円増加し12,862百万円となりました。これは主に、既存借入金のリファイナンス（借換え）等により、流動負債の借入金は1,799百万円の減少となりましたが、一方で非流動負債の借入金は、1,619百万円の増加となったことによるものであります。

③ 資本

資本は、前連結会計年度末と比べ6,444百万円増加し12,561百万円となりました。これは主に、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う新株発行等により資本金が2,766百万円、資本剰余金が2,700百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間	当第 3 四半期連結累計期間	比較増減	
	(自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日)	(自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 12 月 31 日)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	767	1,627	+860	+112.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー	165	△1,095	△1,260	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,408	5,047	+3,639	+258.5%
現金及び現金同等物の増減額	2,342	5,580	+3,238	+138.3%
現金及び現金同等物の期首残高	977	3,634	+2,657	+272.0%
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0	△0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,319	9,214	+5,895	+177.6%

当第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第 3 四半期連結会計期間末に比べ5,895百万円増加し、9,214百万円となりました。当第 3 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの変動要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、税引前四半期利益1,439百万円を計上したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

前第 3 四半期連結累計期間は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入が975百万円計上されたため投資活動によるキャッシュ・フローは収入となりました。当第 3 四半期連結累計期間は主に、有形固定資産の取得による支出211百万円、無形資産の取得による支出580百万円に加え、投資有価証券の取得による支出302百万円を計上しております。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う株式の発行による収入5,487百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年12月16日に公表いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載の通期の業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2019年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,634	9,214
営業債権及びその他の債権	1,778	1,892
棚卸資産	166	224
その他の流動資産	345	155
流動資産合計	5,925	11,487
非流動資産		
有形固定資産	4,921	5,043
のれん	5,863	5,863
無形資産	1,428	1,805
その他の金融資産	351	652
繰延税金資産	416	517
その他の非流動資産	60	53
非流動資産合計	13,040	13,936
資産合計	18,965	25,423
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,155	356
営業債務及びその他の債務	1,164	952
リース負債	372	389
未払法人所得税	213	406
引当金	23	27
その他の流動負債	1,679	1,769
流動負債合計	5,610	3,902
非流動負債		
借入金	3,120	4,739
リース負債	3,751	3,838
退職給付に係る負債	252	249
引当金	114	131
非流動負債合計	7,238	8,959
負債合計	12,848	12,862
資本		
資本金	646	3,412
資本剰余金	3,142	5,842
その他の資本の構成要素	11	17
利益剰余金	2,317	3,289
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,117	12,561
資本合計	6,117	12,561
負債及び資本合計	18,965	25,423

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
	百万円	百万円
売上収益	7,223	8,654
売上原価	3,313	3,952
売上総利益	3,909	4,702
販売費及び一般管理費	2,615	3,100
その他の収益	6	4
その他の費用	151	125
営業利益	1,148	1,481
金融収益	0	0
金融費用	42	41
税引前四半期利益	1,106	1,439
法人所得税費用	331	466
四半期利益	775	972
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	775	972
四半期利益	775	972
1 株当たり四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	37.75	40.97
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	33.64	39.19

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	775	972
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	0	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	0	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	—	△0
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	—	△0
税引後その他の包括利益	0	△0
四半期包括利益	775	972
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	775	972
四半期包括利益	775	972

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)

(単位 : 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								合計
	資本金	資本 剰余金	その他の資本の構成要素				利益 剰余金	合計	
			在外営業 活動体の 換算差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株 予約権	合計			
2018年 4 月 1 日時点の残高	100	336	—	—	8	8	1,307	1,752	1,752
四半期利益	—	—	—	—	—	—	775	775	775
その他の包括利益	—	—	—	0	—	0	—	0	0
四半期包括利益合計	—	—	—	0	—	0	775	775	775
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	7	7	—	7	7
新株予約権の行使	383	383	—	—	△9	△9	—	757	757
新株の発行	162	162	—	—	—	—	—	325	325
共通支配下の企業結合による影響	—	2,260	—	—	—	—	—	2,260	2,260
利益剰余金への振替	—	—	—	△0	—	△0	0	—	—
所有者との取引額合計	546	2,806	—	△0	△1	△1	0	3,351	3,351
2018年12月31日時点の残高	646	3,142	—	—	7	7	2,082	5,878	5,878

当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)

(単位 : 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								合計
	資本金	資本 剰余金	その他の資本の構成要素				利益 剰余金	合計	
			在外営業 活動体の 換算差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株 予約権	合計			
2019年 4 月 1 日時点の残高	646	3,142	—	—	11	11	2,317	6,117	6,117
四半期利益	—	—	—	—	—	—	972	972	972
その他の包括利益	—	—	△0	—	—	△0	—	△0	△0
四半期包括利益合計	—	—	△0	—	—	△0	972	972	972
新株予約権の発行	—	—	—	—	0	0	—	0	0
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	8	8	—	8	8
新株予約権の行使	22	22	—	—	△2	△2	—	43	43
新株の発行	2,743	2,677	—	—	—	—	—	5,420	5,420
所有者との取引額合計	2,766	2,699	—	—	6	6	—	5,472	5,472
2019年12月31日時点の残高	3,412	5,842	△0	—	17	17	3,289	12,561	12,561

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,106	1,439
減価償却費及び償却費	446	649
減損損失	150	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△22	△114
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△75	△57
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△132	△195
その他	32	212
小計	1,505	1,933
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△41	△40
法人所得税の支払額	△696	△265
営業活動によるキャッシュ・フロー	767	1,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△121	△211
無形資産の取得による支出	△230	△580
投資有価証券の取得による支出	—	△302
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	975	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△239	—
その他	△217	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	165	△1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,090	—
短期借入金の返済による支出	—	△1,790
長期借入れによる収入	—	5,185
長期借入金の返済による支出	△273	△3,574
リース負債の返済による支出	△165	△262
株式の発行による収入	757	5,487
新株予約権の行使による収入	—	43
その他	—	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,408	5,047
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,342	5,580
現金及び現金同等物の期首残高	977	3,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,319	9,214

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは「ヘルスビッグデータ」、「遠隔医療」及び「調剤薬局支援」の3つの事業を事業セグメント及び報告セグメントとしております。当社グループでは、これらの報告セグメントに属するサービスの全て若しくはその一部を行う単位で株式会社として組織化しており、各セグメントに属する組織の財務情報を集計することによって、各報告セグメントを評価しております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
ヘルスビッグデータ	医療データベース（レセプト・医薬品ほか）の開発・提供、医療ビッグデータの分析
遠隔医療	遠隔読影マッチングサービスの提供、遠隔読影のためのインフラシステムの提供
調剤薬局支援	調剤薬局向け業務システムの開発・販売

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

セグメント間の内部売上収益は、市場価格や製造原価を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

セグメント利益はEBITDA（営業利益＋減価償却費及び償却費±その他の収益・費用）であります。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報
前第 3 四半期連結累計期間(自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援			
売上収益						
外部収益	3,015	2,652	1,555	7,223	—	7,223
セグメント間収益	20	—	57	77	△77	—
合計	3,036	2,652	1,612	7,300	△77	7,223
セグメント利益						
EBITDA	1,024	740	55	1,820	△80	1,740

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

当第 3 四半期連結累計期間(自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援			
売上収益						
外部収益	3,767	2,952	1,934	8,654	—	8,654
セグメント間収益	23	—	119	142	△142	—
合計	3,790	2,952	2,053	8,797	△142	8,654
セグメント利益						
EBITDA	1,317	817	254	2,390	△138	2,251

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

EBITDAから税引前四半期利益への調整表は以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間	当第 3 四半期連結累計期間
	(自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	(自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
	百万円	百万円
EBITDA	1,740	2,251
減価償却費及び償却費	△446	△649
その他の収益	6	4
その他の費用	△151	△125
営業利益	1,148	1,481
金融収益	0	0
金融費用	△42	△41
税引前四半期利益	1,106	1,439

前第 3 四半期連結会計期間(自 2018年10月 1 日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援			
売上収益						
外部収益	1,359	900	579	2,838	—	2,838
セグメント間収益	7	—	21	29	△29	—
合計	1,366	900	601	2,868	△29	2,838
セグメント利益						
EBITDA	649	249	20	919	△32	886

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

当第 3 四半期連結会計期間(自 2019年10月 1 日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援			
売上収益						
外部収益	1,407	1,004	616	3,028	—	3,028
セグメント間収益	7	—	22	30	△30	—
合計	1,415	1,004	639	3,058	△30	3,028
セグメント利益						
EBITDA	616	288	80	986	△51	934

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

EBITDAから税引前四半期利益への調整表は以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結会計期間	当第 3 四半期連結会計期間
	(自 2018年10月 1 日 至 2018年12月31日)	(自 2019年10月 1 日 至 2019年12月31日)
	百万円	百万円
EBITDA	886	934
減価償却費及び償却費	△168	△227
その他の収益	1	0
その他の費用	△0	△114
営業利益	718	593
金融収益	0	0
金融費用	△14	△9
税引前四半期利益	703	583